

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 1月 8日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	互いに愛し合う
タイトル	足を洗われたイエス様
テキスト	ヨハネ 13章
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ 13:34
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入 興味を起こす質問をしましょう。

今日は、イエス様が弟子たちの足を洗われたことを学びます。そこで、先生が今からみんなの足を洗いたいと思います(隠していた洗面器を取り出して!)。そしてその後でみんなに先生の足を洗ってもらおうと思います。(みんなの反応を伺いながら)時間が足りなくなると思うので実際には洗いませんが、もし本当に先生の足を洗うことになったら、どんな風に思う?またみんなの足が洗われることになったらどう思う?(導入ではなく、結論の前にこれを話すのも良いでしょう)

□ポイント1 イエス様は、弟子たちの足を洗われました(1、4-5)

イエス様は十字架にかかれるその最後の最後まで、弟子たちを愛されました。何と先生であるイエス様がたらいに水を入れ、弟子たちの足を洗い、手ぬぐいで足をふかれ始めたのです。それは弟子たちを愛していることを示すためでした。

☆考えてみよう

問: どうして弟子たちの足を洗うことが、弟子たちを愛していることになるのでしょうか?

考えるヒント: 人の足を洗うことは、当時、奴隷や召し使いがすることでした。

□ポイント2 イエス様は、裏切ろうとしているユダの足も洗いました(2、11、21)

イエス様は、ユダが裏切ろうとしていることを知っていました。それでもイエス様は、ユダを含めた弟子たち全員の足を洗われたのです。イエス様は、裏切ろうとしているユダのことも愛していたのです。

☆考えてみよう

問: 私たちは、自分のことを悪く言う人やだます人に対して、嫌な思いになります。それは当然のことだろうと思います。「自分に意地悪をしてくるあの人のことが大好き!」って、どう考えてもおかしいと思います。でもイエス様は自分を裏切るユダの足をも洗われました。イエス様はおかしい人だったのでしょうか? どうしてイエス様はユダの足を洗われたのでしょうか?

考えるヒント: イエス様はユダを愛していました。イエス様は、罪を赦し救うために十字架にかかるので、裏切るユダもやがて罪を悔い改めることを願っていたのではないのでしょうか?

□ポイント3 イエス様は、互いに愛し合うことを教えました(14-15、34-35)

イエス様が弟子たちの足を洗われた理由は、いつも誰が一番偉いとか言い争っていた弟子たちに愛し合うことを教えるためでした。イエス様は新しい戒めとして、互いに愛し合うことを教えてくれました。そしてイエス様の弟子である証拠は、互いに愛し合っていることだと分かると言われました。もし私たちが愛し合っていないなら、イエス様の弟子ではないということになります。イエス様を信じてイエス様の弟子である私たちが大切にすることは、イエス様が愛して下さったように私たちも互いに愛し合うことです。

□結論 イエス様が愛して下さったように、私たちも互いに愛し合しましょう。

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

☆子どもたちの状態を見ながら、1か2のように適用を展開しても良いでしょう。

1. 互いに愛し合うってどんなことだろう？

教会学校、家庭、学校、友だち…具体的にあげてみる

2. 愛せなかったり赦せなかったりする人がいるなら、今日、イエス様の愛をいただく。

イエス様は、あなたが傷ついていること、そしてどちらかと言えば相手の方が悪くてあなたが被害者だということを知っています。自分を裏切ったり、意地悪をするような人を赦して愛していくって、なかなか出来ないよね～。簡単じゃないよね。「絶対ゆるしてやるもんか」って思うよね。イエス様も裏切られたことがあるから、よーく気持ちが分かると思うよ。イエス様は今、そんな私たちの前にひざまずいて赦せない心を洗い、傷ついた心をいやそうしています。このイエス様の愛をいただくよ。このイエス様の愛を受け取ろうよ。そうすると私たちの心に、愛が生まれてきます。一緒に祈って、イエス様の愛をいただきましょう。